

**ユアサ木材の森林整備活動が、国の「J-クレジット制度」の認証を取得**

ユアサ商事株式会社のグループ会社であるユアサ木材株式会社の森林整備活動が、「J-クレジット制度」において2023年3月15日付けで認証を受けたことを、お知らせいたします。

※J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCo2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCo2等の吸収量を売買可能な「クレジット」として国が認証する制度です。

**【概要】**

ユアサ木材株式会社では1957年に会社を設立して以来、地域の方々と協力しながら再生可能な森林資源を保有管理してきました。整備活動（間伐・植樹）を適切に行うことで、森林の成長が促され大気中のCo2吸収量が増加します。これまでと今後の整備活動において、Co2吸収量を定量的に評価する「森林経営活動プロジェクト」を開発、J-クレジット制度事務局に申請し2023年3月15日に認証を受けました。

**【認証の概要】**

適用方法論	森林経営活動（J-クレジット制度 方法論番号：F0001 Ver. 3.0）
プロジェクトの種類	通常型
プロジェクトの概要	社有林の一部で施業した間伐・植林事業
実施地域	北海道阿寒郡（釧路地区）の約26haのエリア
認証期間	2022年4月～2038年3月までの16年間
排出削減見込み量	年間約100トン（2022年度）、2038年までで計2,800トンの見込み *排出削減量の確定値は、今後のモニタリング結果により確定

**【ユアサ木材株式会社の取り組み】**

ユアサ木材株式会社は、木材の専門商社として、世界中のFM（森林認証）を受けた森林から産出された木材を仕入れ、品質を管理し、国内の取引先へ届けてきました。その際に大切にしてきたのは「植え・育て・伐り・使う」という持続可能な地域循環サイクルです。この理念の延長線上に、今回のJ-クレジット制度の認証取得があります。今後はJ-クレジット制度の活動を通じて、さらなる脱炭素・カーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

**【今後の展開】**

ユアサ木材株式会社は、国内においては北海道の釧路地区に約100haの森林を保有管理しています。植生の7割はカラマツやトドマツなどの針葉樹が中心となる人工林で、主に建築材・産業資材などの用途で利用されていますが、間伐によって「製材等に利用できない細い間伐材」や「枝状」などの未利用材も多く生まれます。これらの未利用材の活用に向け、今後は地域の自治体、大学、研究機関などと連携し取り組んでいく予定です。

## 【会社概要】

ユアサ木材株式会社 | YUASA LUMBER CO., LTD. (<https://yuasa-lumber.co.jp/>)

所在地 : 東京都千代田区神田錦町1丁目8番地 0Pビル3階

代表者 : 代表取締役社長 福住 勉

設立 : 1957年5月

事業内容 : 木材卸・加工業

ユアサ商事株式会社 | YUASA TRADING CO., LTD. (<https://www.yuasa.co.jp/>)

所在地 : 東京都千代田区神田美土代町7番地

代表者 : 代表取締役社長 田村 博之

設立 : 1919年6月25日

事業内容 : 産業機器、工業機械、住設・管材・空調、建築・エクステリア、建設機械、エネルギー、その他分野に関する製品販売やサービス提供

《本件に関するお問合せ先》

ユアサ商事株式会社 総合企画部 TEL:03-6369-1133 E-mail:souki@yuasa.co.jp